

内田光子

ピアノ・リサイタル 2021

Mitsuko
Uchida
Piano Recital 2021

3年ぶりとなるピアノ・リサイタル、
2020年の延期公演として開催決定！

2021年10月19日(火) 19:00開演(21:00終演予定)
Tuesday, October 19, 2021 at 19:00

モーツァルト:ピアノ・ソナタ第15番 へ長調 K. 533 / K. 494
Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Sonata in F Major, K. 533 / K. 494
※「第15番」は新モーツァルト全集に拠る

ベートーヴェン:
ディアベリのワルツによる33の変奏曲 八長調 作品120
Ludwig van Beethoven: 33 Variations on a Waltz by Diabelli in C Major, Op. 120

2021年10月25日(月) 19:00開演(21:00終演予定)
Monday, October 25, 2021 at 19:00

シューベルト:4つの即興曲 D. 935より
Franz Schubert: Excerpts from Four Impromptus, D. 935

ベートーヴェン:
ディアベリのワルツによる33の変奏曲 八長調 作品120
Ludwig van Beethoven: 33 Variations on a Waltz by Diabelli in C Major, Op. 120

※曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。

Decca/©Justin Pumfrey

サントリーホール 大ホール

Suntory Hall, Main Hall

S:16,000円 A:12,000円 B:8,000円 C:5,000円 学生:1,000円

※学生席はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ取扱い。(消費税込み)
25歳以下、来場時に学生証提示要、お一人様1枚限り。

◎サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 9月23日(木・祝)10時~28日(火)

※先行期間中は窓口での販売はございません。

◎一般発売 9月30日(木)10時~

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(10:00~18:00 休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

チケットぴあ t.pia.jp/ イープラス eplus.jp/ ローソンチケット l-tike.com

主催:サントリーホール
Presented by Suntory Hall

[@SuntoryHall_PR](https://twitter.com/SuntoryHall_PR) [f@suntoryhallJAPAN](https://www.facebook.com/suntoryhallJAPAN)



SUNTORY HALL
夢を奏でる場所
The Home of Applause

Mitsuko Uchida

Piano Recital 2021



世界の UCHIDA、 サントリーホール35周年記念にベートーヴェン晩年の傑作 “ディアベッリ変奏曲”を弾く！

PROFILE

ピアノ：内田光子 *Mitsuko Uchida, Piano*

内田光子は、真実と美の姿を独自に追求しながら、自らが奏でる音楽の世界を深く掘り下げている演奏家である。モーツァルト、シューベルト、ベートーヴェンの作品の解釈で高い評価を受ける一方、ベルク、シェーンベルク、ウェーバー、ブーレーズなどの作品に光を当て新しい世代の聴衆に紹介している。

クリーヴランド管との共演は100回を超えるほか、長年にわたりシカゴ響、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィルなどの世界の主要オーケストラとの共演を重ね、ハイティンク、ヤンソンス、ムーティ、ラトル、エサ=ペッカ・サロネン、ドゥダメルといった世界的な指揮者との共演も多い。

2016年からアーティストック・パートナーとなっているマラー・チェンバー・オーケストラと、ヨーロッパと北米での5年間のツアープロジェクトを行っている。また、ウィーン、ベルリン、パリ、アムステルダム、ロンドン、ニューヨーク、東京で定期的にリサイタルを行い、ザルツブルク・モーツァルト週間やザルツブルク音楽祭にも定期的に参加している。

デッカと専属契約を結び、モーツァルトのピアノ・ソナタ全集やシューベルトのピアノ・ソナタ集など幅広いレコーディングを残している。11年にクリーヴランド管を弾き振りしたモーツァルトのピアノ協奏曲のライブ録音で、また17年にドロテア・レシュマンとで録音したアルバム『シューマンとベルク』でグラミー賞を受賞。クリーヴ

ランド管／ブーレーズ指揮シェーンベルクのピアノ協奏曲で、グラモフォン賞（最優秀コンチェルト賞）など4種類の賞を受賞。

長年にわたり若い演奏家の成長を支援し、ボルレッティ・ブイトーニ・トラストの理事を務めている。また、13年よりマールボロ音楽祭の芸術監督を務め、現在はジョナサン・ビスとともにその任を精力的に行っている。

05年日本芸術院賞を受賞、文化功労者に選出、09年には大英帝国勲章「デーム」の称号が授与された。作品に対する深い探究と解釈が評価され、15年、高松宮殿下記念世界文化賞（音楽部門）を受賞。

サントリーホールではオープニング・シリーズにおいて、イギリス室内管弦楽団とのモーツァルト：ピアノ協奏曲全曲演奏会（全10公演）を行い、その後も数々の名演を残している。サントリーホールアソシエイト・アーティスト。

